

「地域を見守る」社会貢献活動

地域の方々が安心して暮らせる地域・社会環境づくりに貢献したい。
その思いから当社は、これまでの「子どもの命・安全を守る」活動に「高齢者等の見守り」活動を加え、「地域を見守る」社会貢献活動として、明治安田生命労働組合と共同で実施しています。日々の営業活動を通して、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守ります。

「子どもの命・安全を守る」活動

- 犯罪等の被害にあい、またはあいそうになって助けを求めてきた子どもの保護
- 事件発生を認知したときの110番通報と学校連絡
- 被害にあいそうな危険な場所等を発見した場合や、不審な車や行動を見つけた場合の情報提供

「高齢者等の見守り」活動

- 日常と比べて明らかな異変が見られた場合に自治体等へ連絡

例) 同じ洗濯物が、干されたままの状態が続いている
郵便物等が、ポストからあふれた状態が続いている
雨戸やカーテンが開まったままの状態が続いている 等

「活動プレート」(中面)



「明治安田生命作成の活動ポスター」

2 小さな拠点 (多世代交流・多機能型)

(地域の社会資源を最大限有効に活用し必要なサービスの確保を)

これまでの福祉政策は、基本的には、高齢者、障害者、児童など対象者固有のニーズに対応したサービスを育成・推進することにより、質の高い専門的サービスの提供に寄与してきた。一方、今後の人口減少を見据えれば、特に中山間地域等では、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などの各制度に基づき、これまで対象者別に提供されてきたサービスをより効果的・効率的に提供する体制を構築し、また地域交流・地域支え合いの拠点としての機能を強化する必要がある。

このため、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」(地方創生先行型)のメニューとして「多世代交流・多機能型福祉拠点の推進」を設け、地域の福祉ニーズに対応した多世代交流・多機能型の拠点作りを推進している(図表2-2-7)。

図表2-2-7 小さな拠点(多世代交流・多機能型)の概要



コラム 高知県で整備が進む地域福祉の拠点「あったかふれあいセンター」

○ **過疎地住民の生活を支え孤立を防ぐ**

高知県大豊町は、高知市から40kmほど北にある山間部に位置する町。険しい山々に囲まれた町の中央には吉野川が雄大に流れ、自然豊かなところである。かつては2万人を超えていた町の人口は、現在およそ4,300人、高齢化率は実に55%を超える中、町内80を超える集落のそれぞれで、住民が昔から住む土地で生活している。

このような環境の中、町の地域福祉に「大豊町あったかふれあいセンター」が重要な役割を果たしている。これは、高知県が県内で整備を進める「あったかふれあいセンター」の一つで、大豊町が実施する事業として町の

社会福祉協議会が運営している。

このセンターでは、高齢者や障害者らの通所型のサロンや地域に出向いてのミニデイサービスなどを行っているほか、あわせて送迎時に行政機関での手続きや買い物などの支援を行い、また自宅への訪問による見守り支援も行っている。

過疎化・高齢化が進む中、それぞれの集落に住む高齢者や障害者は、外出して他の住民と交流する機会が乏しく、またサロンや生活支援を供給する民間福祉サービスが少ない状況の中、このセンターの取組みは町の住民生活の大きな支えとなり、また孤立防止の役割も果たしている。